

JREU TOKYO 業務部速報



2025.9.02 No.006

発行：JR東労組東京地本 業務部

「労働協約・協定に関わる品川駅みどりの窓口」 に関する緊急申し入れの団体交渉を行う！

議事録確認

東地申第2号「労働協約・協定に関わる品川駅みどりの窓口」に関する緊急申し入れの交渉経過を踏まえ、別紙のとおり確認した。

2025年8月22日

東日本旅客鉄道株式会社首都圏本部
企画総務部
勤労ユニットリーダー 佐藤圭太

東日本旅客鉄道労働組合東京地方本部
業務部長 鈴木雄

【別紙】

(組合) 品川駅街地区における開発計画によって、議事録確認に抵触する可能性があるの
か明らかにすること。

(会社) 品川駅のみどりの窓口については、駅改良工事やお客さまのご利用状況等を踏
まえ、窓数の変更を検討している。なお、平成19年3月22日付の「NF2
008」における今後の駅のあり方について」の議事録確認における「混雑する時
代に合わせて、7窓フルオープンできる体制を確保していく。」の記載につ
いては、労使合意のもと変更を検討している。

(組合) 社長会見にてみどりの窓口削減を一旦凍結すると記者会見で述べていることに
踏まえても、今回の品川駅の削減は会見内容と逆行していると認識していること
から、会社としての見解を具体的に示すこと。

(会社) 現時点では、首都圏本部として、みどりの窓口閉鎖を一旦見合わせる方針は変
わらない。ただし、品川駅における窓口数縮小は、お客さまのご利用状況等を踏
まえた判断であり、認識の相違はないと考えている。

(組合) みどりの窓口数を変更する場合については、発券枚数ではなく対応件数を考慮
して検討すること。なお、品川駅のみどりの窓口は、現行通りの窓口数を維持す
ること。

(会社) みどりの窓口の体制は、発券枚数等を総合的に考慮し対応していく。将来的に
窓口によらない販売体制を目指す方針は変わらない。なお、品川駅のみどりの窓口は
5窓で対応可能と考えており、引き続き適切な体制を構築していく。

(組合) 現行の品川駅出札の4徹6日働から労働者数が増えるのが明らかになること。

(会社) 現時点では体制の変更はない。引き続き、お客さまのご利用状況等を踏まえ、適
切な体制を構築していく。

(組合) 労働協約・協定（以下、協約という）に変更が必要になる場合について
は、工事計画時点で示すこと。また、JR東日本の本体だけでなく、グルー
プ会社まで協約の存在と意義、コンプライアンス教育含めて周知徹底するこ
と。

(会社) 必要な対応・周知は行っていく。

(組合) 平成19年3月22日付の「NF2008における今後の駅のあり方につ
いて」の議事録確認については、「締切時間や始業時間の変更など作業ダイヤ
を精査した中で、特に混雑する時間帯に合わせて、7窓フルオープンできる体
制を確保していく。」の一文についてのみを2025年東地申第2号「労働協
約・協定に関わる品川駅みどりの窓口」に関する緊急申し入れの団体交渉に基
づいたものへと変更すること。

(会社) 平成19年3月22日付の「NF2008における今後の駅のあり方につ
いて」の議事録確認は維持するが、該当の一文を以下のとおり変更する。「締切時
間や始業時間の変更、作業ダイヤの精査及びお客さまのご利用状況等に応じ
て、5窓をオープンできる体制を確保する。引き続き、状況に応じた適切な体
制を構築していく。」

労働協約の一文を変更し、
議事録確認を締結！

※改良工事での騒音対策をホテル泊等で、対応することを確認！

※みどりの窓口が5窓に削減されるも、

現時点での4徹6日体制の維持を確認！

※労働協約を本体だけでなくグループ会社まで徹底し、

その都度、把握していくことを確認！

JR 東労組が結成から積み上げてきた、数えきれないほどの

労働協約と議論経過がなければ職場は守れない！

JR 東労組に結集し、健全な企業づくりに向けてたたかおう！